

高梁市議会だより

第42号
2020年5月



3月定例会新年度予算審議

新型コロナウイルス対策特集

令和2年3月定例会

議案質疑特集

令和2年3月4日から3月24日まで令和2年3月定例会が開催されました。市長提出の議案51件を原案どおり可決しました。あわせて市長から追加提出の議案2件のうち、1件を可決、1件を適任と決しました。また、議員提出の議案1件を原案のとおり可決しました。



復興とともに前進していくための予算を審議

令和2年度は復興計画「復旧期」の最終年度となることから、引き続き、復興計画の柱である市民生活の再建、生活環境の整備、経済活動の支援など、復旧・復興に向けた取り組みを最優先事項と位置づけ、また、国土強靱化の理念に基づく事業についても、重点的に取り組む予算内容になっています。

また、令和3年度からの次期総合計画や総合戦略への種をまく準備期間として重要な年となり、災害により中断していた事業の頭出しも行われることになっています。

1日も早い災害からの復旧はもちろん、市民が健康で安心して暮らし働ける地域づくりに向けて取り組み予算として編成されています。一般会計248億円、特別会計157億円の予算について審議内容をご紹介します。

高倉町肉谷地区の復旧工事



令和2年度 高梁市一般会計予算

災害時支援を必要とする方の避難について

避難行動要支援者の名簿及び避難行動計画策定のためのシステム整備の予算が計上されており、議員からは、要支援者の情報を整備するにあたり、個人情報やプライバシーの観点から慎重に取り扱わなければならない反面、災害時には情報の共有が必要だが、どのように考えているのかとの質問がありました。

執行部からは、本人の同意を得た上で進めていくとの答弁がありました。

また、現状では災害時、民生委員だけでは負担が重く、全市的に自主防災組織ができていないとはいえない状況でどのように運用していくのかとの質問がありました。

執行部からは、名簿の調整は年内に行い、他市の状況も勘案して条例整備や担当部署での協議を行うとの答弁がありました。

消防団員の報酬などについて

議員からは、消防団員の報酬の支払い、車両搭載型のデジタル無線機について質問がありました。

執行部からは、平成30年ほかの自治体での不適切な事例が報道されたが、高梁市消防では適切に支払いを行っている。また、令和2年度予算で車両搭載型のデジタル無線機8台の購入を予定しており、今後も検討していくとの答弁がありました。



車両搭載型デジタル無線機

令和2年度予算

■学童保育支援員確保について

議員からは、学童保育支援員確保のための経費について質問があり、執行部からは、子どもの主体的な活動が尊重される、質の高い支援を確保するための助言・指導等を行う巡回アドバイザーを新たに1名配置するとの答弁がありました。

■介護人材確保事業について

議員からは、新しくなる介護人材確保事業の内容について質問がありました。

市内に就労していただけるように支援している介護事業所に対して14名分の補助金を出すようにしている。また、人材確保のための登録バンクの創設やパワーアシストスーツなどを導入することについて補助を行う、との答弁がありました。

■森林環境譲与税について

議員から森林調査の委託料や里山林整備補助金など森林環境譲与税に関するものがあるが、具体的

な内容はどうかとの質問がありました。執行部からは、森林調査委託料(795万円)は有漢地域の私有林全体の調査を行い、里山林整備補助金(807万3000円)は人家の裏山等で倒木の危険がある木を伐採した場合に助成する防災事業と、里山林を2名以上で整備を行う里山林再生事業が含まれるという答弁がありました。

■高梁国際ホテルの

長期経営計画の策定について

議員から事業計画策定補助金の内容についての質問があり、執行部からは、高梁国際ホテルの長期経営計画を策定するために必要な費用の2分の1程度であるとの答弁がありました。

それはホテルが負担すべきではないかという議員の意見に対し、執行部からは、市は施設の大規模修繕の必要性について、管理者である高梁国際ホテルに対し長期運営に向けた計画策定を求めている。施設所有者として計画策定費用の2分の1負担をすることにし

たという答弁がありました。

■市営住宅について

議員からは、市営住宅のストック改善計画の進行状況についての質問がありました。

執行部からは、平成26年度から令和元年度で終了見込みだが、改修は引き続き行っていく。工事請負費の市営住宅改修工事費は成羽の星原住宅の外壁塗装、ベランダの防水工事、浴槽の改修で、ストック改善の補助金で対応する。市営住宅の施設等改修費は松山住宅のエレベーターの改修工事を予定している、との答弁がありました。

■道路改良工事費について

議員からの道路改良工事費があるが、どこから行うのかという質問に対して、工事の要望は年間40〜50件あり、中断しているものや通学路の危険箇所などを優先して対応するとの答弁がありました。

■災害復旧の進捗について

議員からの、災害復旧の進捗状

況を問う質問に対し、執行部からは、道路等の復旧工事については2月末時点で299件を発注した。未発注の44件は、新年度予算での発注となっている。農林施設災害では、国庫補助事業275件のうち、未発注となっている121件、農業施設の修繕139件、林業施設では主に肉谷地区の水路工を令和2年度予算に計上している、との答弁がありました。

■令和2年度高梁市

国民健康保険特別会計予算

議員から、短期人間ドッグの個別受診の申し込み期間が延長となる点について質問がありました。

執行部からは、令和元年度までは市を経由して申し込んでいたが、令和2年度からは、直接医療機関に申し込むこととし、期間を1月末まで延長したとの答弁がありました。

令和2年度予算

GIGA スクール構想など新たな施策も

高梁市市営住宅条例等の一部を改正する条例

議員からは、質問に対し、執行部からは、主な改正は連帯保証人を2名から1名に、保証額の上限を家賃の3カ月相当と定めた、との答弁がありました。

令和元年度高梁市一般会計補正予算

議員からは、地方創生に係わる薬草の状況はどうかとの質問がありました。執行部からは、今年度は作付けを2・36ヘクタール予定していたが、10分の1程度にとどまった。栽培期間中の除草作業や掘り起こし費用などコスト面の課題がある。また収量も10アールあたり45キログラムと目標に達していない。課題も多くあり、今後は技術者を招き、講習会を開くなどソフト面での対応を考えている、との答弁がありました。

高梁市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

議員からは、選挙用ビラを公費負担で使用するようになることだが、4000枚は多いのではないか、証紙が必要で添付しなければならぬのか、また配り方に規制があるのか、など質問がありました。

執行部からは、公職選挙法の規定で4000枚を上限にしている。証紙は届出時に配布され、ビラに貼らなければならない。頒布できるのは選挙期間中の新聞折込みと選挙演説会に限られる、との答弁がありました。

将来の事業に向けて合併特例債の活用

法改正により合併特例債^{*1}の発行期限が5年間延長されたことから、新市建設計画の一部の変更が提案されました。

議員からは、計画の中の人口推計について見通しが甘いのではないかと質問がありました。執行部からは、あくまで現在の統計データに基づくもので、令和2年度には改めて人口ビジョンや総合

計画を見直していくとの答弁がありました。

また、議員から合併特例債発行限度額について質問があり、執行部からは、限度額は173億5880万円、現在の発行率は63.2%で、今後次期総合計画を策定する中で調整していく。消防庁舎整備事業、認定こども園整備事業、川上地域局移転事業に充当することを想定しているとの答弁がありました。

成羽複合施設の工事費増額について

議員からは、外壁の内側の吹きつけ工事面積が増えたため工事請負契約金額が143万円増額しているが、契約後になぜ増額する必要があるのかとの質問がありました。

執行部からは、冷暖房費の節約や維持管理に寄与する工事であるため実施することとした。施工業者からの提案に基づく設計変更ではあるが、市としては経費を抑えることができる提案であり、現場

監督、監理者の協議や内部協議を行った上での設計変更による増額であるとの説明がありました。

GIGAスクール構想に関する施設整備

GIGAスクール構想を実現するための国の補正予算を活用した学校内での無線LAN整備事業の予算について、議員から、これまでの整備に加えてさらに何を実施するかとの質問がありました。

執行部からは全校舎内で無線LANを利用できるようにするとの答弁がありました。

さらに、議員からはGIGAスクール構想実現のため、ハード面だけではなくICT教育の指導者の育成にもつと力を入れるべきではないかと質問があり、執行部からは、学校におけるICT環境整備に関わる地方財政措置としてICT支援員活用などのソフトメニューがあり、令和2年度は校務支援システムという教員の働き方改革に寄与するメニューを活用するとの答弁がありました。

*1 合併特例債…合併した自治体が使える有利な市債。

*GIGAスクール構想：「学校における高速大容量のネットワーク環境（校内LAN）の整備を推進するとともに、特に、義務教育段階において、令和5年度までに、全学年の児童生徒ひとりひとりがそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境を実現すること。

反対討論

石部 誠

「高梁市防災行政無線施設条例を廃止する条例」によって、放送塔も撤去されるが、屋外への情報伝達に有効であるため、条例には反対する。

「令和2年度高梁市一般会計予算」は、行革による各種使用料や給食代金、給食宅配サービスや学童保育負担金などの値上げが含まれる。また吉備国際大学への補助金、図書館委託料などが優先して計上されている。さらに会計年度任用職員制度導入により市民センターの開館時間が15分短縮されサービス低下となる。これらのことから反対する。

水道事業特別会計予算は、水道料金引き上げを前提に予算化されているので反対する。

賛成討論

森田 伸一

「高梁市防災行政無線施設条例を廃止する条例」は、情報伝達の手法として、ケーブルテレビや防災メール、防災ラジオなどで多面的に行うものとして廃止に向け協議してきた。住民説明も十分に行われているという現状から賛成する。

「令和2年度高梁市一般会計予算」は、豪雨災害からの復旧・復興を進め市民生活の再建、生活環境の整備、国土強靱化の取り組み、次期総合計画等に向けての準備など、重要な要素が含まれる予算なので賛成する。財政状況が厳しいなか、行財政改革の推進や国、県への要望など財源の確保に努めてほしい。

「令和2年度高梁市水道事業特別会計予算」にある事業の統合や料金の改定は、令和元年9月議会において水道の安定供給に必要な措置として承認されている。議会

賛成討論

石田 芳生

としても財源確保に向け、取り組んでいることでもあり賛成する。

今議会の議案は復旧復興に向けた取り組みを最優先事項とし、国土強靱化、次期総合計画や総合戦略への準備を行うためのものであり賛成する。

しかし、現在大きな社会問題となっている新型コロナウイルス感染症対策については盛り込まれていない。国県の動向をいち早く捉え、また、市民生活の現場の情報をくみ取った上で適切な対応をお願いしたい。

市内には臨時休校期間、遠隔授業等ICTを活用した教育を実現できた学校もある。既存の環境の中でも市民の英知を結集して難局を乗り越えることはできるのではないか。

3月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○賛成 ●反対

件 名	伊藤	森	平松	森上	三村	黒川	石田	石部	石井	宮田好	森田	倉野	川上修	宮田公	川上博	大月
高梁市防災行政無線施設条例を廃止する条例	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度高梁市一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度高梁市水道事業特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。



今回の議会では、新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)に関する多くの質疑が行なわれました。3月議会中には、まだ岡山県では感染者が発生していなかったため、今後発生した場合の対応などを中心に、各議員がさまざまな角度から質問しました。

議会では、議会報告会の中止、行政視察の中止などできることから新型コロナ対策を行なっています。今後も状況の変化に応じて、執行部と共に市民の安全な生活を守っていきます。

新型コロナウイルスどう防ぐのか？ コロナ関連一般質問まとめ

全員協議会で、学校再開と公共施設一部休止についての報告

4月16日には、全員協議会が開催されました。教育委員会からは、文部科学省のガイドラインにのっとり、感染症対策を講じた上で、学校再開に踏み切ったとの説明があり、議員から反対の意見はありませんでした。公共施設については、公民館、福祉施設、コミュニティ施設等是一律に休止してはいないとの説明がありました。



病院関連

Q 成羽病院での対応は。
A 緊急の場合もいきなり病院にくることなく、外から電話で予約を申し込んでほしい。現在は車の中で診察をしている。それで問題がないようであれば、院内で各種の検査をしたうえで適切なルートへ案内する。(4月30日現在、全ての来院者に検温と問診を行い、防疫を徹底しています。)

議会最終日、「子ども食事券」など支援策が可決

18歳未満の子ども
全員に3,000円分の
食事券を配布。



議会最終日の3月24日には、新型コロナに関連した追加予算が提出され、可決されました。この予算には、中小企業に対する利子補給事業、18歳未満の子ども1人につき3,000円分の、高梁市内の飲食店で利用できる「子ども食事券」を配布する事業に加え、マスク3万枚、アルコール消毒液500リットルを購入するための費用が含まれています。

質疑では、マスクや消毒液は医療機関を最優先に配布し、介護事業所やこども園などの施設にも重点配分するとの説明がありました。食事券を18歳未満の子育て世帯に限定した理由については、子どものストレス軽減を図るため、家族での外食を支援するためという答弁がありました。

議会終了後に、国の緊急事態宣言を受けて観光施設などが閉鎖することになったため、使用期限が延長になりました。



市役所関連

Q 新型コロナが指定感染症になった1月28日からの高梁市の対応は。

A 1月29日に対策幹部会議を開催し、これからの行動計画を話し合った。以降5回の会議をしている。

Q そういった動きをもつと市民に知らせたほうが安心感があるのではないかと保健所や福祉施設などさまざまな場所から情報が入ってくると思うが、どこが対応しているのか。

A 健康づくり課が窓口になって、日々メールや電話で情報の収集を行っている。

Q 高梁市の新型コロナに関するホームページが3月6日から更新されていない。

A 早急に改善したい。

Q マスクや消毒液の備蓄は充分にあるのか？

A 市のマスクの備蓄は当初は約3万7000枚程度。そこから、4つの病院に約9000枚を提供した(3月10日時点)。防疫用に1万枚は確保しておきたいので、極力自力で確保していただきたい。

Q 市役所内の防疫体制はどうなっているのか。

A 入口に来庁者用マスクと消毒用アルコールを用意している。トイレには手洗い方法のビラを貼っている。業務についてはBCP(事業継続計画)というものがあり、その中で継続していくべき事業や必要な人員を定めている。

Q 職場感染が起きた場合、在宅勤務はあり得るか。

A 直接人と接する業務が多いため、難しい。



学校関連

Q 休校による授業日数不足にはどう対応するのか。

A 令和2年度以降にカバーしていく。学期内だけではなく、夏休みや冬休みの休業中などで調整する。各学校の実態を調べて弾力的に運用する。

Q 長期的な休業による心理的ストレスへの対応は。

A 家庭訪問や電話連絡で家庭と連絡している。必要があれば、個人的に登校して、スクールソーシャルワ

カーに相談してほしい。

Q 非正規雇用の職員の処遇はどうなるのか。

A 講師や司書、校務員とALTについては通常どおりの勤務。指導員については学童の支援に回ってほしいとお願いしている。

Q 休校が長引いた場合、インターネット授業などを予定しているのか。

A 準備は必要であると思っている。

経済関連

Q 令和2年度事業にある「地域商業活性化支援事業」などで事業者への支援がでないか。

A 新年度予算で対応できるものは対応する。緊急の課題については、別の施策も必要だと考えている。

Q 観光客が少なくなっている非常に厳しいという声を聴

いている。

A 旅行、観光業では顕著な影響が表れている。製造業でも中国などからの部品調達が滞っている企業が出始めている。雇用面においては、休校による勤務シフトへの影響が懸念される。今後も地域経済への影響について把握に努める。



議会の役割と任務

議員定数と報酬はどうあるべきか？

2月20日と3月24日の全員協議会において、議員定数と議員報酬についての意見交換会を開催しました。

2月20日の全員協議会では、全国の類似団体と比較した状況や、議会機能の向上といった視点から資料が提示され、議長から高梁市では今議会では見直しを行なわな

い旨の説明がありました。3月24日の全員協議会では、17人の議員がそれぞれの立場や考え方から意見を述べました。

議員定数についての主な意見として、高梁市は市域が広く、議員は地域代表としての使命も背負っている。常任委員会構成は3委員会6人が必要で、定数18議席を下回るのは運営上厳しい。議会の多様性の確保のためにも18議席は必要であるといったものがありました。

反対に、市民感情からして減らすべき。人口減に合わせて削減していくことも必要である、という意見もありました。

議員報酬についての主だった意

見として、子育て世代の議員は現在の報酬では活動は難しい。報酬は15年間据え置きのみであり、後継者不足の解消のためにも引き上げは必要である。議員報酬は給料ではなく、必要経費も多くかかるといった意見が出された。

反対に市民感情に配慮して報酬は引き上げるべきではない。また議員報酬については第三者委員会にゆだねるべきといった意見も出されました。

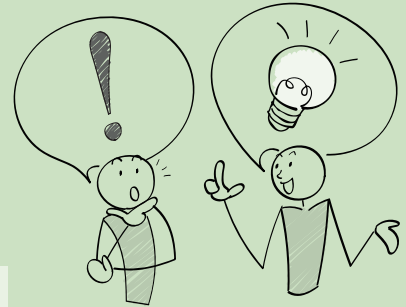
あわせて、報酬以外の収入や年齢を勘案した報酬制度、子育て手当や介護手当の創設も必要ではないか。また、休日・夜間議会を行い議員と仕事で兼務できるように、といった意見も出されました。

他にもあらゆる機会を通じて議会や議員の活動をもっと市民へ伝えることが必要といった意見、議員定数や報酬の削減は経費削減につながらないという意見、また改選まで6カ月と短期間の改正は議会基本条例にてらして十分な議論を行うことができないという指摘もありました。

議員定数を考える際には、行政監視、民意吸収、政策立案という議会の役割を果たすためという視点が重要であり、議員報酬は、議員活動の量や経済状況等も勘案しながら定めることが必要です。定員維持や報酬の増額をするには、その根拠について市民への説明責任を求められる、といった意見も出されました。

類似団体の議員定数と報酬

	高梁市	全国	5万人未満	類似団体
市議会の数	—	815	273	127
議員定数 (人)	18	23.3	17.1	17.57
議長報酬 (円)	425,000	517,000	412,900	406,400
副議長報酬 (円)	357,000	457,000	356,900	350,400
議員報酬 (円)	342,000	422,000	331,500	325,100



一般質問

一般質問とは、議員個人が市政のさまざまな問題について、執行部に質問したり、市政について提案を行う場です。どんな質問をするのかという趣旨を事前に伝える「通告制」を取っており、質問への答弁は一問一答方式で行われます。今回は 11 人の議員が質問しました。

倉野 最近議案の訂正が多いが、市長はどう感じているのか。
市長 課内の意思疎通が大事と考える。その上でお互いにチェックし責任を持つことを進めていく。

倉野 職員の意識改革を市長は常に言っているが、進んでいるのか。
市長 担当職務は当然で、他に広い視野を持って職務を遂行する必要があると感じる。

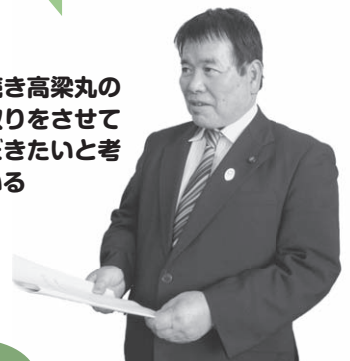
倉野 近藤市政が誕生し約 12 年が経過するが、成果と課題はどうか。
市長 12 年前に約束した事業は進めてきた。このなかで学校教育、医療計画は進捗したが、行政のスリム化は進んでいないと考える。

市政に対する市長の考えを問う

9 月が改選だがどう考えているのか

答弁：

引き続き高梁丸のかじ取りをさせていただきたいと考えている



倉野 嗣雄 議員

ここを
ききました

・市政に対する市長の考えを問う

倉野 令和 2 年 9 月が改選だが、どのように考えているのか。
市長 災害からの復旧・復興、新しいまちづくりに向け、引き続き挑戦させて頂きたい。
倉野 地方自治はそこに住む人のためにある。職員は全体の奉仕者ということを基本に市政運営されることを期待する。

窓口業務の民営化はど うなったか

答弁：

十分な効果が見込めないの
で見送ることにした



宮田 好夫 議員

ここを
ききました

- ・新型コロナウイルスへの対応について
- ・新年度予算について
- ・地域公共交通網形成計画について

財政改革について

宮田 平成30年度決算で経常収支比率（*1）が高いのはなぜか。

総務部長 合併特例措置が終了して普通交付税が減額されるなか、経常経費の減額は難しいのが要因である。

宮田 改善に向けての方策は。

総務部長 収入増が見込めないの
で、経費の圧縮が必要である。令和2年度は、RPA*2やAI OCR*3、チャットボット*4を導入し効率化を図る。

宮田 窓口業務の民営化を検討していたが、結論はどうか。

総務部長 十分な効果が見込めない
ので、見送ることとした。



第2次高梁市地域公共交通網 形成計画について

宮田 高梁市地域公共交通網形成計画は、事業者や労働者に配慮しながら進めるべきではないか。

市長 バス・タクシー事業者に公共交通を担ってもらう。いろいろな方策で働き甲斐のあるよう
うして行きたい。

*1 経常収支比率：自由に使えるお金が多いか少ないかを測定する指標
*2 RPA：データ入力作業などを、ソフトウェアロボットが代行する

*3 AI OCR：AI（人工知能）を組み込んだ文字認識（OCR）装置
*4 チャットボット：AIを活用した自動会話プログラム

ドローン（*5）操作の 習得や研究、試験飛行 等の経費の助成はでき ないか

答弁：

先進地事例を参考
に今後研究したい



平松 賢司 議員

ここを
ききました

- ・有害鳥獣被害防止対策について
- ・平成30年7月豪雨災害被災者への医療費、介護利用料の自己負担減免制度の復活について

有害鳥獣被害防止について

平松 有害鳥獣被害防止計画の目標達成に向け、どう進めているのか。

産業経済部長 地域を対象に専門家を招いて研修会を行っている。野生動物の生態から効果的な侵入防止柵のワイヤーメッシュを推進している。

平松 被害防止に向けイノシシ駆除報奨金を引き上げて、年間を通じて同額とする考えはないのか。

産業経済部長 イノシシは狩猟対象であることから、狩猟期間中と期間外を同額にする考えはない。

豪雨災害での減免制度の 延長について

平松 本市の国民健康保険、介護保険サービスの利用料の減免は昨年12月で終了したが、延長している市もあるので、同様にできないか。

健康福祉部長 減免制度に対する国の財政支援は昨年6月末で終了した。災害の規模等や近隣の状況を考慮し、国の別の支援制度が12月末まで適用されたこともあり、6か月間延長した。

平松 国の支援が無くとも市独自の減免制度の復活は考えられないか。

健康福祉部長 復活の考えは持っていないが、従来の免除制度に該当する場合もあるので個別に対応したい。

*5 ドローン：遠隔操作の出来る無人航空機

感染症予防について

森 平成29年度12月議会で要望し設置された加湿器は、幼稚園・保育園・こども園においてインフルエンザの集団発生予防に効果をもたらしただのか。

健康福祉部長 平成29年度からの3年間において、インフルエンザによる閉鎖は1件であった。湿度や温度の室内状況を細かく記録している訳ではないが、一般論としてウイルスには一定の効果があると聞いている。

森 小中学校・高等学校の各教室へ加湿器の設置はできないか。

教育次長 学校環境衛生基準を満たしていない学校については今後検討する。

学童保育の巡回アドバイザーに作業療法士が望ましいと考えるかどうか

答弁：

非常に有効な方法だと聞いている。積極的に活用していきたい



ここを
ききました

森 和之 議員

- ・感染症予防対策について
- ・学童保育について
- ・市街地のこども園について
- ・WEST EXPRESS銀河について
- ・JR伯備線について

学童保育について

森 支援員確保のため利用料金の値上げを決定したが、支援員の確保はできたのか。

健康福祉部長 6人の離職希望者がいたが、実際に離職したのは3人だった。新年度からは新たに3人の新規採用にめどがついた。安定的な運営のため、あと1人の支援員を確保したい。

JR伯備線について

森 市内各駅周辺部に駐車場を整備することで利用促進が図られるのではないか。

市長 伯備線沿線を活用した定住策のなかで、住宅団地と併せて駐車場を整備する。他の施策と併せて取り組んでいくつもりである。

移住対策について

川上 LINEでの移住相談を開設すべきではないか。

市民生活部長 LINEの公式アカウントを取得して取り組んでいる自治体が増えているのは承知している。本市ではAIを活用したチャットボットの導入を予定しており、LINEでの移住相談についても今後研究していきたい。

LINEでの移住相談を開設すべきではないか

答弁：

チャットボットの導入方針に合わせて研究していきたい



ここを
ききました

川上 博司 議員

- ・移住対策について
- ・マイナンバーカードについて
- ・防災教育について
- ・ひきこもり支援について

川上 マイナンバーカードの普及促進について、どのような対策を行っているのか。

市民生活部長 現在、本市の普及率は県平均を上回っているが全国平均は下回っている。市民に周知を図るため、1月から猫城主さんじゅーろーに「マイナンバーカード伝えたいし」を委嘱しPR活動を行った。また税の申告相談においても個別PRを実施した。今後は交付時の来庁方式ではなく、申請時の来庁方式に変更し、更なる取得促進を図っていく。



小学校に教科担任制を検討すべきではないか

答弁：

来年度研究指定校を
一校設け、研究を
始めたい



伊藤 泰樹 議員

ここを
ききました

- ・ 指定避難場所の施設整備状況
- ・ ウイルス性感染症対策について
- ・ 教科担任制について
- ・ 森林の活用について

指定避難場所整備状況について

伊藤 全トイレの洋式化、防災ラジオの増設、ケーブルテレビの加入の進捗、取組み状況は。

政策監 今後も優先度を勘案して検討しながら計画的に整備していると考えている。

ウイルス性感染症対策について

伊藤 インフルエンザ予防接種費用の助成を拡充すべきでは。

健康福祉部長 状況を見守っていただきたい。

伊藤 風しん抗体検査及び予防接種の取組みを強化すべきでは。

健康福祉部長 市で行う健診での抗体検査の実施と、未受診者に向けて個別の受診勧奨や未受診理由

の把握に力を入れたい。

市長 さまざまなチャンネルや機会を通じて呼びかけたい。

森林の活用について

伊藤 森林環境譲与税を使って何をされるのか。

市長 森林経営管理制度による調査と、民有の天然林に対して里山整備で使わせて頂きたい。

伊藤 森林所有者の登記にかかわる費用を助成すべきでは。

市長 法改正の動向を見守りたい。

伊藤 森林活用策の方向性は。

市長 まず子どもたちをしつかり教育し、フォレストアになるとういう思いが持てるような環境と経済が両立していくような山を作っていきたい。

県道新見川上線の現状はどうなっているのか

答弁：

県ができる限り
早急に着手してい
ただけるものと理
解している



川上 修一 議員

ここを
ききました

- ・ 高梁市の財政について
- ・ 県道新見川上線について
- ・ 森林環境譲与税の活用について
- ・ 町内会支援について
- ・ 農業支援について

高梁市の財政について

川上 本市の財政見通しは。

総務部長 行財政改革の取組みを着実に進めて、社会情勢の変化や、国・県の有利な財政制度を的確に捉え、効果的な基金の運用を図りながら、将来を見据えた適正な財政運営に努める必要があると考えている。

森林環境譲与税の活用について

川上 今まで手つかずだった山の整備や管理に使うのか。

市長 その地域の森林経営と、これからの森づくりに適した内容のものに充当できるよう働きかけをし、要請していきたい。

町内会支援について

川上 町内会支援についてどのような見直しをしたのか。

市民生活部長

12事業の中で5事業については廃止、7事業については多少変わったものもあるが、継続している。

川上 廃止事業についてはどのように対応するのか。

副市長 社会福祉協議会の事業の中に町内会支援制度と同種のものがあるので利用してほしい。

農業支援について

川上 新規就農者への支援が少ないのではないか。

産業経済部長 本市では、農業の担い手確保や育成を最重要課題と考えている。小規模なものは難しいが、農業次世代人材投資事業や農林業関係資金実施補助事業という面で支援したい。

森上 高梁市政に対して全て批判

かとも思います。

市長 批判的な点をお持ちというのは、具体的にどういうことをお持ちかということにもよるんだらうと思いますが、その方が全て批判的だということであれば、この高梁へお住まいへなることがどうなのかという話にもなりますよね。全部施策を批判されるわけですから。ということになればなるかとも思います。

批判的な
市民の理解を得るには

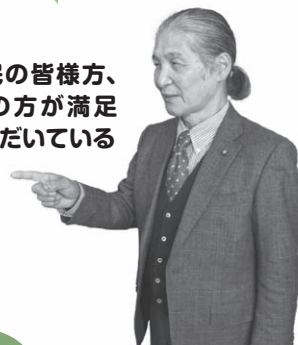
森上 市長の施策に対して批判的な考えを持たれる方もおられるわけですから、そういう方々にたいする、ケアはどのようになされるのか。

市長 批判的な点をお持ちというのは、具体的にどういうことをお持ちかということにもよるんだらうと思いますが、その方が全て批判的だということであれば、この高梁へお住まいへなることがどうなのかという話にもなりますよね。全部施策を批判されるわけですから。ということになればなるかとも思います。

大型建設事業は市民との話し合いが足りなかったのでは

答弁：

今市民の皆様方、90%の方が満足をしていただいている



森上 昌生 議員

ここを
ききました

・近藤市政3期の総括について

のあるものに対しては、言ってみれば出て行けといったような感じの発言は如何なものか。それはどうでしょう。やはりいま言ったようにに市長に批判的な人間は出ていかなければいけないということなのではないでしょうか。

市長 批判をされる方、要は高梁のいまの施策についていけないという方が、全部いけないという方はそうなんだろうと思います。

森上 市の施策があつて市民があるのではなく、市民があつて施策がある。施策に添えないから出ていけというのは暴言ではないか。

市長 基本的には高梁市に安心して住んで頂きたいというのが私の気持ちである。

第2次高梁市地域公共交通網
形成計画について

石井 高梁市の地域公共交通網形成計画について、車を使うことを前提としたまちづくりの見直しと同時に考えるべきではないか。

副市長 それは理想だが、現場におろしていくとき、地域の方の賛同が得られるのかは課題である。中山間地域に暮らす方は、車を手放せない現実がある。

石井 問題点を見つけるためにも、市役所職員が公共交通を使つて通勤する日を作つてはどうか。

副市長 そういった体験をするのは悪いことではないと思うが、高梁市職員の通勤は8割が自家用車で残りはJRなど。参加したくて

市役所職員に公共交通を使った通勤日を作つてはどうか

答弁：

8割が自家用車通勤の現状では無理がある



石井 聡美 議員

ここを
ききました

・感染症への危機管理について
・次期総合計画について
・第2次高梁市地域公共交通網形成計画について
・ひとり親家庭の支援について

も物理的に無理な方がほとんどである。

石井 そういう難しいところからどうやって通勤、通学させるかということが、公共交通網形成計画である。ぜひ検討してほしい。

副市長 街中に限れば、街歩きの習慣を盛り込むことは検討に値すると思つています。

石井 どのくらいまでなら車を使わず生活できるかを意識することは、健康のためにも重要だと思つて

公営住宅の入居条件見直しのアンケートをとるべきでは

答弁：

実態調査の予定はない



石部 誠 議員

ここを
ききました

- ・新型コロナウイルスの感染と対策について
- ・防災と国、県、中国電力との協議について
- ・公営住宅の目的に沿った住宅行政を求める

新型コロナ対策について

石部 高梁市では学校を休校し、濃厚接触が心配されている幼稚園・保育園・学童保育は開所された。近隣自治体でも学校休校を行わず自習を行っているところもある。どのように判断したか。

教育長 文部科学省の要請に応えて、学校を臨時休校した。

健康福祉部長 学童の開所は感染対策の徹底で行えるかと判断した。

石部 保育園や学童保育で感染対策ができるなら学校でも行えるはずである。国の言いなりにならず市が判断すべきではないか。

市長 国の方針に従った。問題は国会でしっかりとした議論がなされていないことである。

水害対策の協議について

石部 中国電力は求められた情報は出すが、自治体などと協議を行うようになっていない。河川管理者の国土交通省からの要請は聞くという立場である。災害対策として市としてもつとインシアチブをとってほしい。

政策監 高梁市として河川整備や水害対策は非常に重要である。県や国に要望も行っている。

公営住宅について

石部 公営住宅の老朽化やバリアフリー化、賃貸時の入居条件見直しなどアンケートを取るべきでは。
産業経済部長 実態調査の予定はない。

増え続ける耕作放棄地対策は

答弁：

農業機械購入の支援措置等、要件を緩和している。集団で取り組むことも検討してほしい



三村 靖行 議員

ここを
ききました

- ・管理が行なわれなくなった農地、森林について
- ・高梁市立地適正化計画について
- ・配食サービス事業について

森林環境譲与税について

三村 令和6年度から森林環境税が導入される予定だが、管理が行われていない森林対策にどう生かされるのか。

市長 人工林と人家近くの天然林に対して事業を行う。現時点では実施することができない事業に対しても拡充をお願いしていく。

災害からの復旧復興と立地適正化計画

三村 まちづくりの拠点となる都市計画区域が、西日本豪雨災害により一部被災しているが、まだ復旧、復興は進んでいないのではないか。落合橋から上流のききよう

緑地付近の河川しゅんせつを実施

しないと、都市機能を守ることができないのではないか。

政策監 県知事には西日本豪雨の洪水を想定した河川整備計画の見直しを要望している。

三村 拠点となる都市計画区域の復旧が遅れるとすれば、周辺部でコンパクト化を進めるため、立地条件が整った地域の計画に取り組むべきではないのか。

政策監 立地適正化計画の中で、都市の全体像として多極分散型であるとしているが、主に都市計画区域について計画を策定する。それ以外は個別の振興計画によって考える。



永平寺町での研修



加賀市での研修



議会広報公聴特別委員会

SNS活用、議会報告会、意見交換会、

議会だよりについて視察

令和2年2月4日・5日 石川県加賀市・福井県吉田郡永平寺町

加賀市議会では、SNSを活用するにあたり、議会活動についてまずは市民に知っていただくことに主眼を置き、SNS上での意見のやりとりは行っていないと申し渡した。議会報告会は2年間かけて市内21のまちづくり団体を巡回しており、8年間で3700名の参加者がいたとのことでした。また、議会報告会とは別に、子ども議会や女性議会、高校生との意見交換会を実施し、いただいたご意見の中には、執行部に要望して実現にこぎ着けたものもあるとのことでした。

永平寺町議会でもフェイスブックを活用していましたが、こちらは特に若年層への情報発信ツールとして捉えており、町民からのコメントに対しては、議長の判断を仰いだ上で、原則として回答を返すこととしていました。

また、公共施設建設等、町の重要課題については、執行部が町民説明会を開催するか否かにかかわらず、議会として町民の意見を聴取するために、全議員と町民の意見交換会を行ったこともあるとのことでした。

高梁市議会でも、SNS活用や市民との意見交換のあり方について検討を続けているところであり、実施できることから取り組んでいく予定です。



行政視察受け入れ

1月 — 2月

1月14

播磨地方拠点都市地域市町議会協議会
高梁市図書館の運営について

1月22

福岡県荻田町議会
保育士確保のための施策について

1月23

神奈川県大和市議会
高梁市図書館について

1月27

神奈川県議会
平成30年7月豪雨災害後の整備等について

1月29

北海道紋別市議会
養護老人ホーム及び認定こども園の複合施設について

2月13

茨城県坂東市議会
高梁市地域公共交通網形成計画について

2月5

鳥取県鳥取市議会
防災について





6月の定例会スケジュール

6/5	金	本会議（議案の上げ）
6/11	木	本会議（一般質問）
6/12	金	本会議（一般質問）
6/15	月	本会議（一般質問）
6/16	火	本会議（議案質疑）
6/17	水	委員会
6/18	木	委員会
6/19	金	委員会
6/24	水	採決

※6月議会への請願のしめ切りは

5月28日までです

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

※なお、傍聴については、新型コロナウイルス感染症対策のため、自粛をお願いしております。

政治家の寄付は禁止！ 有権者が求めることも 禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編 集

議会広報公聴特別委員会
委員長 石田芳生
副委員長 石井聡美
委員 川上博司
委員 宮田好夫
委員 石部誠
委員 森上昌生
委員 森和之
委員 伊藤泰樹

「公共交通」がテーマの議員研修会を開催

第2次高梁市公共交通網形成計画に向けて、地域を守るために

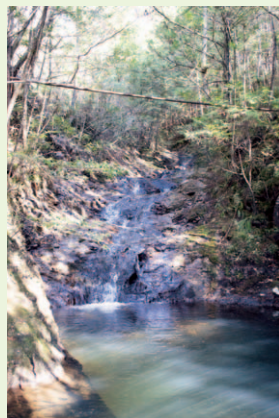


1月24日、高梁市議会場にて議員研修会が行われました。
講師には、神戸市、沼津市、大井町などの地域公共交通会議の委員・アドバイザーを務めている井原雄人氏を迎え、「地域公共交通」をテーマに研修会を行いました。

講演の冒頭から「私は20年間の研究をしています。が、運転免許を持っていません。運転できないからこそ自分の問題として地域公共交通を考えたいです。」

と述べられ、過疎地型の公共交通の課題を丁寧に説明してくださいました。
「高梁市では、公共交通に年間2億5000万円（市民1人当たり7000円）費やしており、全国的にみても力を入れている。第2次高梁市地域公共交通網形成計画の今後の方向性は、住民目線での持続可能なサービスの実現である。住民を巻き込む仕組みづくり等に取り組みすべき。公共交通会議の委員には、偉い人より乗る人に参加してもらい、公共交通事業者のマインドも変えることが重要である。」と話され、住民の意識的な公共交通の利用が重要であると訴えられました。これからの高梁市の公共交通を考えていくうえで、大変参考になる研修会でした。

5月号の表紙について



咳止神社（高梁市巨瀬町）
巨瀬町宮瀬口の交差点から300メートルほど吉備中央町に向かつて進むと、高梁観光百選のひとつ午王溪がある。そこを流れ落ちる雌滝のわきに咳止神社の御神体が鎮座している。巨大な岩がこの神社のご神体、昔から咳止めに御利益があるといわれている。世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスにも御利益を期待したい。

編 集 後 記

昨年末、中国武漢市で初めて確認された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、今や全世界にその魔の手を広げ、日本も感染爆発の瀬戸際です。高梁市も異例の措置が取られ、学校の休校や各種イベントの中止など、市民生活に多大な影響を及ぼしています。議会においても一般市民の議会傍聴の自粛要請、本会議でのマスク着用、更には年2回実施している議会報告会も今季は中止となりました。現在、高梁市では新型コロナウイルスによる罹患者の報告はありませんが、市役所、議会、そして市民一体となって感染防止に努めその影響を最小限にとどめるためのご協力をお願いいたします。
（森上 昌生）